

【渉外・広報室方針】

室長 前田 義浩

今以上に多くの人を巻き込んで運動を展開するためには、会員がより能動的に運動と向き合うと共に、運動を最大限に発信していく必要がある。

まずは、出向者の活躍を結果あるものとするために、日本青年会議所と連携し、展開される事業の意義・目的を全会員に対し発信し、参加啓発する。そして、会員の運動に取り組む意欲を向上させるために、より一層運動に共感し邁進できるような対内情報発信を行う。さらに、名古屋青年会議所の価値を高めるために、市民のニーズを捉え、効果的な対外情報発信により参加を促進する。

我々が内外への運動発信を通じ、魅力溢れる運動をまちに広げ、市民意識変革を導くことで「世界の中心となる名古屋」を実現する。

渉外委員会方針

委員長 白瀧 征人

我々の展開する運動を一層推進するためには、会員一人ひとりに運動の意義・目的を伝え、積極的に巻き込む必要がある。

まずは、対外統括窓口として、関係各所と緊密な連携を図り名古屋青年会議所の活動を円滑に推進できるように、常に先頭に立って、気概ある渉外活動を遂行する。そして、全会員に諸会議・諸大会への参画を促すために、開催の趣旨を的確に伝達し、啓発活動を行う。さらに、志高き出向者が、我々の代表者として積極的に活動できるように、各出向者を慮り、心に響く出向者支援を展開していく。

会員一人ひとりが、揺るぎない情熱を兼ね備え、青年会議所の展開する運動に対し能動的に取り組み、「世界の中心となる名古屋」を実現する。

広報委員会方針

委員長 佐藤 寿倫

我々が真に拡がりのある青年会議所運動を展開するには、魅力溢れる運動をつくと共に、その運動を組織の内外に向け効果的に発信していく必要がある。

まずは、市民に我々をより一層知っていただくために、広報誌等を用いて運動の周知を図る。そして、市民の運動への理解を深めるために、SNSと我々が持つネットワークを組み合わせ、多くの市民に共感をもたらす。さらに、市民を運動へ巻き込むために、情報伝達の即時性や正確性に長けた発信手法を使い分ける。また、会員の一体感を醸成するために、対内情報発信の頻度を高める。

情報発信力を高め、運動に共感できる会員や市民をさらに増加させることで、「世界の中心となる名古屋」を実現する。

【JCフォーラム特別委員会方針】

特別委員長 田中 祐治

真に成果のある運動を展開し社会の変革を成し遂げるためには、魅力溢れる運動をインパクトを与える形で市民に届けなければならない。

まずは、我々が名古屋のまちをより深く知り運動の可能性を見つめ直すために、国際の機会を活用して会員の視野を広げると共に資質の向上を図る。そして、市民と共に希望溢れる未来を描き運動を展開していくために、名古屋青年会

議所の総力を結集し、まちの持つ誇りと魅力や人財を活用し目指すべき名古屋の未来像を力強く発信する例会を開催する。

名古屋青年会議所の発信する運動に市民が共感し、名古屋のまちの未来に向けて我々と共に希望を持って運動を上げていくことで、「世界の中心となる名古屋」を実現する。

【資質向上室方針】

室長 河合 慎太

成熟期を迎え社会の成長が鈍化した現代では、新たな社会の仕組みの創生に向けた意欲溢れる人財の育成が必要とされている。

まずは、運動の効果を高めるため、社会のために行動する会員の情熱を確立する。そして、より良い社会へと成長を促すため、将来への期待感に溢れる市民の向上心を育む。さらに、名古屋全体を繁栄に導くため、我々が地域経済全体の発展を目指す価値観を持った青年経済人に成長する。また、社会全体を繁栄に導くため、勇猛果敢に挑戦する決断力と逆境に折れない精神力を兼ね備えた実践的なリーダーシップのあり方を発信する。

飽くなき向上心漲る人財が、市民と協働して先進社会へ導き、「世界の中心となる名古屋」を実現する。

揺るぎない情熱確立委員会方針

委員長 秋山 知弘

名古屋青年会議所がこれまで以上に市民意識を変革できる組織となるためには、会員の情熱に火を灯し活動意欲を高める必要がある。

まずは、我々の活動の意義を見つめ直すために、青年会議所の歴史を紐解いて調査し、全ての活動が世のため人のためになることを検証する。そして、我々の運動が持つ波及力を一段高いステージへと高めるために、JAYCEEとして得られる成長の可能性と使命感を会員へと伝え、人や社会のために行動できる揺るぎない情熱を確立する例会を開催する。

情熱を確固たるものにした会員が、運動を通じ市民の心にも情熱の火を灯すことで、名古屋のまちに花火のような活力の輪が広がり、「世界の中心となる名古屋」を実現する。

新たな時代のハングリー精神育成委員会方針

委員長 高山 純平

発展が鈍化した現在の状況から脱却し、社会が成長するためには、人々が将来に希望を抱き、向上心を持ち続けることが必要である。

まずは、多くの人々が共感を得られる向上心のあり方を見出すために、自らの現状に満足することなく成長に向かって挑み続け、成功へと至った実例を調査し、挑戦し続ける原動力となった「欲」とは何かを研究する。そして、市民の向上心を育むために、常に理想を掲げて挑戦し続けることで、夢と希望が実現できることを伝え、市民の心に眠るハングリー精神を呼び覚ます例会を開催する。

飽くなき向上心を持った人財が、自らの可能性を信じ挑戦し続け、新たな社会の仕組みを創造して「世界の中心となる名古屋」を実現する。

真の青年経済人育成委員会方針

委員長 峯田 茶百良

社会の成熟で経済成長が鈍化した今、名古屋経済のさらなる発展には、会員一人ひとりが経済人として成長し、地域全体を見据えるビジョンを持つ必要がある。

まずは、会員が経済人としてより成長するため、経済人として必要な知識や思考、礼節と共に社会のために行動する志を学び、経済人が持つべき資質の底上げを図る事業を実施する。そして、名古屋のまちを導くことができる経済ビジョンを持った人財を育成するため、地域経済全体で支え合い共存共栄を目指す名古屋特有の価値観を会員が身につける事業を実施する。

真の青年経済人に成長した会員が経済活動に邁進し、名古屋の地域経済全体の発展を促すことで「世界の中心となる名古屋」を実現する。

本物のリーダーシップ発信委員会方針

委員長 山下 貴広

名古屋のまち全体を繁栄に導くためには、市民の共感を得てより良い社会へ牽引するリーダーが必要である。

まずは、知識を土台とし適切な行動に結びつけるため、リーダーシップ論の変遷について調査研究する。そして、各人にあったリーダーシップに必要な要素を考えるため、先人が実践してきた各種の活動・運動を調査研究する。さらに、社会全体を繁栄に導く人財を育成するため、市民に対し、実践的なリーダーシップとフォロワーシップの見識を深め、実践に根ざした両者の目指すべきあり方を発信する例会を開催する。

明確なビジョンを持ったリーダーが呼応する市民と協働して、夢と希望に溢れる社会を創出し「世界の中心となる名古屋」を実現する。

【まちの誇りと魅力創造室方針】

室長 相川 悟郎

誇りと魅力に溢れるまち名古屋を創造するためには、市民が過去から現在を見つめ直し未来へと向かって行動していく必要がある。

まずは、まちづくりに邁進する市民を増やすため、現在のまちを形成してきた歴史や文化等の特性を誇るべきものとして発信すると共に、ものづくりで発展してきた名古屋を、ものづくりを支える頭脳として再構成して発信する。そして、まちの魅力を未来へつなぐため、歴史に裏打ちされた現在の姿を様々な角度から発信する。また、地域のつながりを再構築するため、地域を巻き込んで子供の心身を育む事業を行う。

誇りを胸に市民が魅力溢れるまちづくりを実践することで、日本を牽引し「世界の中心となる名古屋」を実現する。

名古屋の誇り確立委員会方針

委員長 岩田 修昌

郷土愛溢れる名古屋のまちを実現するためには、市民がまちの歴史を学び、まちの誇りへと昇華し、誇りを未来へと継承しなければならない。

まずは、未来へ紡ぐべきまちの誇りを見出すために、歴史を切り口に名古屋のまちやそれを構成する各地域を見つめ直し調査する。そして、誇りを持ってまちづくりに取り組む意識を醸成するために、歴史に裏打ちされた名古屋の精神性・文化・街並み・産業といった独自性をまちへの誇りの根源として市民に向けて広く発信する例会を開催する。

誇りを胸にまちのために行動し続ける市民が、名古屋の誇りを未来へと継承し、揺るぎない情熱を持ってまちづくりに邁進することで、「世界の中心となる名古屋」を実現する。

文武両道実践委員会方針

委員長 上田 隆人

誰もが誇りを持てるまち名古屋を創造するためには、市民が一体となって、地域のつながりを強められるまちづくりを実践する必要がある。

まずは、各区内のつながりを再構築するために、各区に住む人々が一体となって、子供たちに道徳心を育むことができるわんぱく相撲を実施する。そして、再構築された各区内のつながりを、名古屋のまち全体のつながりへと昇華させるために、広く市民を巻き込み、武道の実践を通じて子供たちに対し、礼節や規律と諦めずに困難に立ち向かう心を育成する事業を実施する。

未来を担う子供たちを中心として強く結ばれた名古屋のまちが、日本のまちづくりを力強く先導することで、「世界の中心となる名古屋」を創造する。

名古屋の魅力発信委員会方針

委員長 鈴木 信輝

愛郷心溢れるまちを創出するためには、人・文化・街並み等多くの独自性を見つめ直し市民がまちの誇るべき特性に自信を持ち、まちの魅力を発信していく必要がある。

まずは、現在の名古屋の風景からまちの魅力と可能性を見出すために、市民を巻き込みながら名古屋の地理的・経済的特性や人の気質、芸術や食に関する文化、街並み等を検証し、その成果を多面的に発信する例会を開催する。そして、市民自らが郷土への愛着を深めるために、市民と共にまちの魅力を探求・収集し、人々を魅了する形で広く発信する事業を実施する。

まちの魅力と可能性を主体的に語る市民が、活力溢れるまちづくりを実践することで「世界の中心となる名古屋」を実現する。

ものづくりを支える名古屋発信委員会方針

委員長 藤井 富浩

市民がまちに対して新たな誇りを持つことができれば、希望と魅力溢れるまちの創造に向けて、積極的に行動することが可能となる。

まずは、未来に向けた社会の発展において名古屋が果たすべき役割を明らかにするために、現在までの経済・産業の変遷、中京工業地帯の中心として果たしている役割を調査研究する。そして、市民がものづくりを支えるこのまちへの誇りをさらに高めるために、中長期的な視点で、名古屋の特性を再構成し、日本経済の方向性をも決定づけ得る名古屋の可能性を発信する例会を開催する。

まちへの新たな誇りを胸にした市民が、ものづくりで世界を牽引し続けるまちを創造していくことで、「世界の中心となる名古屋」を実現する。

【希望溢れる未来創造室方針】

室長 鈴木 直明

希望溢れる未来を創造するためには、私たちが主体性を持ち、確固たるビジョンを描く必要がある。

まずは、日本を支える子供を育成するため、未来を切り拓く教育のあり方を発信する。そして、市民の政治参画意識の高揚を図るため、政治選択の機会を活かし、主権者意識を醸成する事業を実施する。さらに、名古屋を大局的に捉えるために、姉妹JCとのネットワークを活かした民間外交を進める。また、名古屋の冠たる存在感を示すため、国内外の都市を研究し、世界に誇る魅力を活かした都市構想を描き、名古屋の未来ビジョンを発信する。

未来に向けた確かなビジョンを携えた私たちが、このまちの可能性を体現し「世界の中心となる名古屋」を実現する。

民間外交推進委員会方針

委員長 荒尾 政弘

希望溢れる名古屋の未来を創造していくためには、市民一人ひとりが国際感覚を身に付け、主体性を持って行動する必要がある。

まずは、このまちを大局的に捉えるために、姉妹JCとの国際ネットワークを活かし、互いの歴史や文化を共有する機会を創出する。そして、市民に世界の中の名古屋を意識し、民間外交の重要性を理解していただくため、名古屋の文化や精神性を世界に向けて発信する事業を実施する。さらに、第66年度の運動の成果を次代に引き継ぐために、過去と未来の懸け橋となる12月例会を開催する。

我が国そして名古屋の素晴らしさを認識した市民が、それぞれの立場ででき得る民間外交を実践し「世界の中心となる名古屋」を実現する。

世界の中心となる名古屋発信委員会方針

委員長 梅田 鉄兵

希望溢れる名古屋の未来を創造するためには、その主体者である私たちが世界に誇れる名古屋の可能性をしっかりと捉え、実現していく必要がある。

まずは、名古屋の都市構造の魅力や課題を見出すために、国内外の都市を調査し、比較研究する。そして、名古屋の未来の可能性を創造するために、市民と協働して世界に誇れるこのまちの魅力を活かした都市構想を描き出す。さらに、世界における名古屋の確固たる存在感を示すために、市民や行政などに対して、希望に満ち溢れた名古屋の未来ビジョンを発信する例会を開催する。

未来に向けた確かなビジョンを携えた市民が、まちを誇りに想い主体的に行動をすることで「世界の中心となる名古屋」を実現する。

名古屋の未来選択委員会方針

委員長 仲谷 重夫

希望溢れるこのまちの未来を市民主導で切り拓くためには、次代を担う若者たちの政治参画意識を高めていく必要がある。

まずは、真の政治選択のあり方を考察するため、我々の過去の運動を踏まえ、現状の政治や選挙の問題を調査研究する。そして、市民の政治参画意識の高揚を図るため、本年に開催される政治選択の機会を活かし、政策本位の議論の重要性を伝え18歳選挙権を見据えた主権者意識を醸成する事業を実施する。さらに、将来の有権者である子供たちに向けた選挙教育の機会を提供する。

主権者意識の向上した若者たちが起点となり、市民一人ひとりが未来志向の政治参画を果たし行動を起こすことにより「世界の中心となる名古屋」を実現する。

教育ビジョン確立委員会方針

委員長 三輪 邦裕

希望溢れる日本の未来を切り拓いていくためには、その担い手となる子供たちへの教育のあり方を考え、地域ぐるみで実践していく必要がある。

まずは、現在の教育問題の根源を浮き彫りにするため、戦前・戦後教育の変遷やその体制を調査研究する。そして、子供たちが困難を乗り越え生き抜く力を体得するため、世代を越えた地域の人々が、子供たちに主体性を育む機会を創出する。さらに、市民に対し幼少期の人格教育の重要性と教育のあり方を広く伝播するため、未来に向けた教育ビジョンを発信する例会を開催する。

真の教育ビジョンを実践し、成長した子供たちがこのまちで活躍し、未来を切り拓いていくことで「世界の中心となる名古屋」を実現する。

【オリエンテーション特別委員会方針】

特別委員長 三宅 貴史

名古屋青年会議所が、まちに大きなインパクトを与え続ける運動を行っていくためには、将来の盤石な組織づくりを見据え、共に率先して行動できる会員を増強する必要がある。

まずは、我々が多くの仲間と志を同じうして活動していくために、全ての会員を巻き込み、自らの経験を熱く語ることで、入会候補者の胸に期待感を抱かせるような募集活動を展開する。そして、新入会員が、真のJAYCEEへと成長し、活動できる人財になるために、会員と互いに切磋琢磨することのできるオリエンテーションを実施する。

我々が、期待感と希望に満ちた新入会員と手を携えて、市民意識の変革に向けた運動を展開することで「世界の中心となる名古屋」を実現する。

【総務室方針】

室長 尾関 良祐

我々が市民意識変革運動の展開に注力するためには、堅実な運営を持続する必要がある。

まずは、揺るぎない情熱から発信される運動が最大限に実現されるために、どのような困難であろうとも全ての担いを愚直に行い、誰からも信頼を得られる組織運営を総務と財務の面から行う。そして、運動発信の土台となる組織を維持するために、堅実な組織運営を行い、組織の公益性を保持する。さらに、本年度の運動に対する対外からの共感や理解と対内からの運動への推進力を得るために、荘厳な1月例会新年賀詞交歓会を行う。

信頼感溢れる堅実な運営を確保することで、清々しき溢れた拮がりある運動の展開へとつながり、「世界の中心となる名古屋」を実現する。

財務委員会方針

委員長 光田 侑司

名古屋青年会議所という組織が最大限の力を発揮するためには、健全な財務による下支えが必要不可欠である。

まずは、名古屋青年会議所が社会から信頼される団体であり続けるために、公益社団法人の検証と運営を行う。そして、継続的な運動発信を可能にする運営基盤を作るために、収支予算案の立案補佐・決算を行い、規則・法令を遵守した管理を行う。さらに、全ての運動が最大限効果を発揮するために、各議案を通じて青年経済人としての知恵を活かした予算書の作成援助を行い、諸会議を運営・補佐し、事業構築と向き合う。

堅実な財務に下支えされた名古屋青年会議所の光り輝く未来へとつながる運動により、「世界の中心となる名古屋」を実現する。

総務委員会方針

委員長 寺田 拓也

名古屋青年会議所が心置きなく市民意識変革運動を展開するために、安心感のある組織運営を確立する必要がある。

まずは、全ての運動が最大限の成果を挙げるために、全ての議案を通じて、前向きかつ的確な助言を行う。そして、効果的な運動の展開を可能にする活発な議論を促すために、各諸会議を迅速かつ綿密な準備をもって運営する。また、本年の運動方針に対する対外からの共感や理解と、対内からの運動への推進力を得るために、記憶に残る1月例会新年賀詞交歓会を開催する。

本年の運動を丹念な運営で下支えすることにより、組織が運動に専念できることで、名古屋青年会議所の運動がさらなる拡がりをみせ「世界の中心となる名古屋」を実現する。

【不撓不屈のJAYCEE育成特別委員会方針】

特別委員長 細川 雅也

我々が、いかなる困難にも屈することなく運動を行っていくためには、会員一人ひとりのJAYCEEとしての強い使命感を確立する必要がある。

まずは、運動の中心を担う人財を育成するために、副委員長としての責任と役割の自覚を促すセミナーを実施する。そして、青年会議所の可能性を知り一步前に踏み出すために、会員が青年会議所活動のプロセスを通じ能動的に活動することで我々の運動の尊さを認識できる事業を実施する。さらに、自らの可能性に挑戦する気概を醸成するために、不撓不屈の精神を育成する例会を開催する。

不撓不屈のJAYCEEが名古屋青年会議所を牽引し、市民の意識を変革することで「世界の中心となる名古屋」を実現する。